

加茂地区タウンミーティング開催報告

日 時	令和3年10月13日（水）9：30～11：00	
場 所	加茂公民館 会議室	
参加者	<p>【地域側：9人】 加茂地区連合自治会長・副会長・女性部、藤之石本郷自治会代表、社会福祉協議会加茂支部長、防犯協会加茂支部長、加茂地区老人会理事、消防団加茂分団長</p> <p>【傍聴者：1人】</p> <p>【行政側：4名】 市長、加茂公民館長、危機管理監、建設部長</p>	
次 第	<p>1 開会 2 挨拶（加茂地区連合自治会長）</p> <p>3 市長挨拶</p> <p>4 意見交換：(1)各種活動の継続方法について（高齢者見守り活動・消防団活動） (2)防災・減災対策としての情報伝達手段の確保 (3)道路環境の整備 （現状と課題説明及び参加者全員による話し合い）</p> <p>5 まとめ・閉会</p>	
概 要		
自治会長 挨拶	<p>市の財政状況が厳しい中、加茂公民館の耐震工事や洋式トイレの整備等をしていただき、快適な利用ができるようになった。</p> <p>加茂地区は過疎と住民の高齢化により、自分達では解決できないことがたくさんある。今日のタウンミーティングは、市長へ要望することが主となってしまいが、よろしく願い申し上げます。</p>	
市長 挨拶	<p>今日は加茂地区流の進め方で、皆さんと時間を共有したい。</p> <p>まずこの地区の現状を知ること、そしてここからどのように対応していくか、この地区をどのようにしていきたいかということと皆さんと一緒に考えていきたい。</p> <p>内容によっては、地域の皆さんにお願いすることもあると思う。逆に、行政が引き受けることもあるはずである。これらを選別しながら、地域をより良くしていきたい。</p>	
参加者の発言要旨		市の発言要旨（及び対応）
<p><高齢者見守り活動の継続について></p> <p>加茂地区の人口は、令和3年8月末日現在で111人で、半数以上が75歳以上の高齢者である。</p> <p>現在、3人の民生児童委員が毎月独居老人の訪問やミニデイ集会（軽スポーツ、頭の体操など）をしてきている。</p> <p>安否確認も含めて必要な活動だと捉えているが、次回の改選時（R4年11月）には3人とも75歳以上となる。交代するにしても、運転できなければ継続できない。後継者がいない場合に市職員で対応できないか。</p>		<p>地域コミュニティを守ることで、高齢の方々に負担がかかっていることを承知している。</p> <p>民生委員は、原則その地域に居住していることと委嘱時に75歳以下であることを要件としている。</p> <p>この要件をどうすれば適応できるか、またどうしても年齢構成上、不可能な場合の対応策について計画的に検討していく。</p> <p>また、見守り対象者の年齢条件についても引き上げを検討している。引き続き、地域でできることは協力をお願いしたい。</p>
<p>地元に住む自分達だから信頼関係ができています。</p> <p>例えば、見守り推進員が地区外の人に交代した場合、地域の人が受け入れられるかという不安はある。</p>		<p>何を目的にするか、どういう形を望むか、本音の部分で話を聴きたい。いつでも市長室に来てほしい。</p>
<p><消防団活動の継続について></p> <p>加茂分団は定員25人に対し、現在24人が在籍している（うち地区在住者7人）。山間部における定年特例は75歳になっているが、この先6年で10人が定年に達する。</p> <p>団員の増員を目指し、地区出身者や親戚等も含め募集を行っているが、候補者が見つからない。</p> <p>今年度、桜樹分団が中川分団に再編されたが、加茂や大保木も同様に厳しい状況である。今後4～5年中には見直しの方向性を固めてほしい。</p>		<p>桜樹分団の例がモデルとなる。加茂に置き換えると例えば神戸分団との統合も考えられる。統合するとなると、4・5年先を見据えて、自治会、消防本部、消防団を交えて検討する必要がある。</p> <p>案件は受け取り、一緒になって消防団のあり方を考えていく。</p>

参加者の発言要旨	市の発言要旨（及び対応）
<p><防災情報の伝達手段について> 丸山にスピーカーが設置されているが、千町地区は範囲が広く、民家も点在しているので、防災行政無線が聞こえない。スピーカー自体も老朽化し、周りを木立に囲まれボソボソとしか聞こえない。</p>	<p>千町地区は、消防団加茂分団（荒川）のスピーカーを活用し、防災行政無線を流している。 丸山のスピーカーは、防災行政無線としては使っていない。</p>
<p>中之池・川来須地区には防災行政無線設備がない。</p>	<p>両地区には防災行政無線を設置していない。 中之池地区は個人宅に衛星携帯電話を設置し、川来須地区は対象が1軒のため、衛星携帯電話ではなく、連絡網（固定電話）で情報伝達している。</p>
<p>令和元年タウンミーティングにて、戸別受信機の設置を希望したが、行政からは「衛星電話による情報伝達手段を活用したい」との回答であった。 全員に確実に情報を伝えるためには、戸別受信機の設置が良いのではないかと。</p>	<p>戸別受信機を設置しても、山際の場合は電波状況が悪く届かないエリアがある。また、現行の無線システムの更新、放送設備の整備など予算面でも難しい。 市では、家庭の電話（有線）が最も確実な情報伝達手段だと考えている。 固定電話からグループごとに伝言で周知（連絡網）する仕組みを作りたい。市でサポートすることも可能である。その他、活用できるサービス（安心安全メール）等もお示しする。</p>
<p><道路環境の整備について> 千町地区内道路の舗装が悪化しているので、修繕してほしい。 (1)千町久保（人家～誓願寺）約100m (2)中谷～中屋 約340m (3)藤之石本郷（人家～人家）約200m</p>	<p>山間部の舗装は何十年も経過しており、骨材が見えていたり、デコボコがあったりする。職員によるレミファルト（穴埋め）を実施しているが、応急処置であるため、長い間保持できるものではない。 ご要望の3区間については、舗装をやり替える。 ただ、距離が長くなるので、特に悪い箇所、使用頻度が高い箇所を相談させていただきながら、優先順位をつけ、約3か年かけて対応したい。</p>
<p>黒代地区の危険個所にガードレールを設置してほしい。この場所は標高が330mほどあり、降雪時などは特に滑落の危険性が高い。</p>	<p>まず今年度、約20mの区間を設置する。具体的な場所について相談させていただきたい。 残り20mは令和4年度に実施する。</p>
<p>交通安全協会からも申し出ていたが、市道加茂線（千町）から国道194号への合流地点にカーブミラー設置を要望している。 先日、市担当者から設置箇所の相談があったので、設置がいつ頃になるか教えてほしい。</p>	<p>愛媛県が管理する国道であるため、県に対し、カーブミラー設置の申請を出している。許可され次第、1面を設置予定である。時期がわかればお知らせする。</p>
<p><国道194号沿いの桜の手入れについて> 地元で雑草処理をしてきたが、危険な場所もあり、市で対応をお願いしたい。 手入れができていない桜とできていない桜があり、ソメイヨシノの天敵・てんぐ巣病による被害も出ている。 また、雑木に負けてしまう恐れもあるので、下刈りをお願いする。</p>	<p>桜は平成11年以降、団体からの寄贈や「国道194号期成同盟会」による植樹もあり、高知県側も含めて約2,000本が植わっている。 どのように下刈りをすれば良いか、改めて担当職員が話を伺うようにしたい。 また、道路建設後「利用促進」のための同盟会を結成しているのは、全国的にも珍しく、道路を大事にしようとする意識がここにはある。 除草は県にも要望しているが、県では道路交通に影響する部分しか対応しないだろう。 植樹自体は市やボランティアによるもので、同盟会に加入されている一般企業等の皆様からの協力もいただきながら、きれいな桜並木を管理できる仕組みを考えていきたい。</p>

参加者の発言要旨	市の発言要旨（及び対応）
<p><各種料金支払いの効率化について> 光ファイバーが市道を横断していることで、占用料100円を支払っている。たった100円の徴収に対し、市はどれだけの経費（事務）をかけているのか疑問に感じている。</p>	<p>水道料金や下水道料金は将来を見据え、見直し（値上げ）をしていく。 全庁的に、手間を考慮して0円にしたり、値上げをしたり見直しを図っていく。</p>
<p>まとめ</p> <p><市長> ここで暮らしていくためには、コミュニティ、自治というものが大切だと感じる。自治のあり方は今までと変えなければならない部分もある。「これからの自治」を一緒になって考え、加茂らしさを追求したい。その主体は皆さんである。私達も課題解決のための前向きな議論を続けていく。</p> <p><連合自治会長> 市長をはじめ、皆さんにお越しいただき感謝する。ざっくばらんな意見交換ができ、有意義な会となった。</p>	

<当日の様子>

